

第三〇七回俳都松山俳句ポスト

第三〇七回開函

「紅日」主宰 川内 雄二 選

特選三句

大夕焼金亀の城の影の濃し

愛媛県松山市 篠原 正史

ラムネ飲む青年の喉見とれをり

広島県呉市 影野 成子

滔滔と流れる大河男梅雨

愛媛県新居浜市 青山 京子

入選二十句

(市外)

前を行く日焼けた腕に太い足

兵庫県宝塚市 芳野 正樹

髪洗ふ修験の山をやり遂げて

岐阜県各務原市 山田 麻里

窓開けて風と一緒に虫の声

岡山県岡山市 山下 愛加

天守閣耳を澄ませば蝉しぐれ

静岡県伊東市 元木 伸一

肱川の水面はじける鶉飼かな

神奈川県海老名市 妙林 あや

海峡の渦より白し夏帽子

愛媛県大洲市 宮部 敏博

霊園に一人たたずみ蝉の声

東京都中野区 松田 芳和

お遍路も乗りぬ各駅停車かな

岡山県岡山市 本多 佳穂

秋の蝉聞こえるやうに鳴きにけり

愛媛県今治市 西田 上酢

花火してバケツの水の黒さかな

千葉県柏市 滝本 圭佑

島結ぶ数多の橋や大夕焼

埼玉県熊谷市 鈴木 陽子

遠雷や慌てて下る遍路道

神奈川県藤沢市 岡本 慧修

湯上がりの宿で眺める笹飾り

大阪府大阪市 青木 美咲

(市内)

芝を刈り青い白いが立ちのぼる

愛媛県松山市 渡部 昭弘

秋日和白のまばゆき双胴船

愛媛県松山市 山内 栄

晩夏光蕩の波のいぶし銀

愛媛県松山市 眠り姫

梅雨詣り雨宿りする大師堂

愛媛県松山市 中城繁子

本堂や夏座布団の新品よ

愛媛県松山市 門屋定

(十五歳以下)

すいれんのみどりにはえるしろいはな

愛媛県松山市 溝上真菜

カブトムシ光に向かつて飛んでゆく

大分県別府市 長野 皇士朗

伊予灘ものがたり賞

伊予灘の流れる景色青嵐

愛媛県大洲市 松本 幸枝

投句総数	一、七〇七句
市外	一、三四七句
市内	三六〇句
投句者総数	一、一二四人
市外	九三〇人
市内	一九四人

開函日

令和四年八月三十一日